



君の世界に芽生えるものは

くおんじゅく

久遠孰

vol. 63



久遠塾 ☎ 080-2182-1379 13:00~20:00
メールアドレス shiranuka.kuon@gmail.com

ぐに紙製の糸が切れてしまうという失敗がありました。今年はその反省を生かし、ビニールプールに風船が若干浮く程度に水を張り、糸が濡れないよう万全を期しました。

「くおんじゅく縁日」の前売り券は、在校生や先生方に購入していただき、用意した30枚が完売となりました。当日券の50枚も多くの方に購入していただき、13時前には完売となりました。おかげさまで昨年を上回る大盛況のうちに終えることができました。参加者の中には、小学生以下の子どもたちも多く、とても楽しくんでくれていました。「これを機に

物価高騰の影響により、景品の調達には苦慮しましたが、売り上げた4000円につきましては、全額を「日赤令和6年能登半島地震災害義援金」に寄付させていただきました。今回の「くおんじゅく縁日」の実施に際し、多くのご参加・ご協力をいただき、ありがとうございました。この場をお借りいたしましてお礼申します。

「眼」について講義

塾スタッフの岡戸講師が1年生のBS久遠塾（理科）において、豚の眼球解剖とその解説をしました。

1年生の「科学と人間生活」の教科書には『眼の構造とはたらき』という項目があります。生徒は、授業で「ヒトの眼球の構造」を学習しています。

教科書には「観察・実験1～ズタの眼球の解剖」という写真付きで、その目的・準備・手順を解説している項目があります。豚の眼球は人間の眼球に似ていることから、解剖を通して眼球の構造や機能を学ぶのに適しています。また、豚は食用とし



岡戸講師の巧みな手さばきに感嘆する生徒たち。思わずスマートフォンで写真を撮っていました。

そこで、豚の眼球を手配した岡戸講師が、B.S.久遠塾で解剖の実践をした、という次第です。生徒は、岡戸講師が解剖した眼球の各部位を教科書の水平断面図と照らし合わせながら、ピンセットで一つ一つ丁寧に観察し、豚の眼球がヒトの眼球と似ていることを確認しました。生徒たちは、若干の気持ち悪さを感じつゝも真剣な眼差しで作業にいそしんでいました。